

# 国立吉備青少年自然の家 オイルタンク等改修工事

図 面 リ ス ト			
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	備 考
M - 0	表紙・図面リスト		
特 - 1	特記仕様書 (1)		
特 - 2	特記仕様書 (2)		
M - 3	配置図 (生活関連棟)	1/500	
M - 4	配置図 (ロッジ)	1/200	
M - 5	生活関連棟改修平面図 (配管)	1/50	
M - 6	ロッジ改修平面図 (配管)	1/50	
M - 7	地下オイルタンク改修図 (15KL及び3KL)	1/30	

独立行政法人国立青少年教育振興機構		令和4年5月					
工事名称	国立吉備青少年自然の家 オイルタンク等改修工事			設計者 (株)アドバンコンサルタント			
図面名称	表紙・図面リスト		縮尺	建築士第07F2-7010R1号 井上 誠			
図面番号	M-0	課長	係長	主任	担当	設計者	Rev

機械設備工事特記仕様書

1. 工事概要				
1. 工事名称 国立吉備青少年自然の家 オイルタンク等改修工事				
2. 工事場所 岡山県加賀郡倉橋中央町吉川4393-82				
3. 完成期限 令和4年10月31日				
4. 工事の種類 規模等				
建物概要				
種別	屋外	生活関連	ロジック	
種別	改修	改修	改修	
構造・階数				
建築面積				
延べ面積				
屋内設備				
空調設備				
暖房設備				
換気設備				
給水設備				
排水設備				
消火設備				
給湯設備				
ガス設備				
電気設備				
屋外その他設備				
空調設備				
暖房設備				
給水設備				
排水設備				
消火設備				
ガス設備				
重油タンク				
1. 地下オイルタンク改修工事 2. 油ポンプ機器更新工事 3. 地下オイルタンクから油ポンプまでの配管、配管付属品更新工事				

II. 一般特記事項				
1. 総則				
(1) この工事の受注者は、独立行政法人国立青少年教育振興機構工事請負契約基準、現場説明書、本特記仕様書 2 枚、図面 5 枚、公共建築改修工事標準仕様書（統一基準）（機械設備工事編）（平成31年度版）、文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（平成31年度版）、公共建築改修工事標準仕様書（統一基準）（機械設備工事編）（平成31年度版）、文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（平成31年度版）、及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。				
(2) 特記仕様書の適用方法				
1. 印で始まる事項及び表中の・印の事項については○印を付した事項のみ適用する。				
2. 表中の各欄に、数字、文字、記号等を記入する事項については、記入してある事項のみ適用する。				
3. 二重取消線又は×印で抹消した事項は全て適用しない。				
4. 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱いには、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。				
5. 以下、公共建築改修工事標準仕様書（統一基準）（機械設備工事編）（平成31年度版）を「公共改修仕様書」とし、及び文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（平成31年度版）を「文科仕様書」とする。				

III. 一般共通事項				
1. 実施工程表				
概成工期 令和 年 月 日（ 曜 日 ）				
2. 電気保安技術者等				
この現場に、下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。				
項目名	電気保安技術者			
1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○			
2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○			
3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく、主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○			
4. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○			
5. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○			
6. 第1種電気工事士の資格を有する者	○			
7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○			
8. 第2種電気工事士（旧電気工事士）の資格を有する者	○			
9. 短期大学もしくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○			
工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。				
3. 施工条件				
工事期間中、利用者等第3者には、十分注意を払うこと。				
消防等への届出は、発注者が代理で行うこと。申請料等についても発注者の負担とする。				
タンク間の切替は現地管理者と打合せによる。利用者への影響を極力なくすよう努めること。				
4. 施工中の環境保全等				
「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」（平成9年7月31日建設省告示第1536号）に基づき指定された建設機械、かつ、騒音・振動発生抑制装置の取付に関する取組（技術基準に適合する建設機械又は「排出ガス対策型建設機械指定要領」（平成2年10月9日建設省経機発第249号）において基準値に適合する建設機械を使用するものとする。				
5. 環境への配慮				

6. 機材の検査等				
機材の検査に伴う試験				
機材名	検査	試験	備考	
7. 技能士				
・ 配管（配管工事） ・ 建築板金（ダクト製作及び取付） ・ 熱線施工（保温工事） ・ 冷凍空調機器施工（リフティング、リフティング型空調機器の取付及び整備）				
8. 一工程の施工の確認及び報告				
下記の工事部分は施工の確認及び報告を監督職員に行う者とする。				
工事部分	確認	報告事項		
9. 施工の検査等				
検査に伴う試験・立会い等				
施工部分	検査	立会い	試験	備考
10. 技術検査				
工事完成時には、下記の完成図等を提出するものとする。				
名称	体裁	部数		
・ 完成図	原図	部		
○ //	仮製本	3部		
※ ○ //	製本（黒表紙金文字製本）	部		
・ 施工図	原図	部		
・ //	仮製本	部		
・ //		部		
※ ○ 機器完成図		2部		
※ ○ 各種試験成績書		2部		
※ ○ 護手続き書類（写）		2部		
※ ○ 保全指導書		2部		
○ 工事写真帳	○ 電子媒体	○ 紙媒体（7/4纏じ）	2部	
CADデータ（○要 ・ 不要）				
本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。				
貸与する設計図のCADデータ著作権者名：国立青少年教育振興機構				
ファイル形式：JPDF				
貸与条件：貸与するCADデータは本工事における施工図または完成図の作成のため以外に使用しないこと。				
提出方法：CADのデータ形式はDXFないしJWWとする。その他のデータはPDFとする。				
12. 保安に関する資料				
下記に示す機器及びシステムについては、当該機器又はシステムを運用する職員に対しその機能・操作の説明、保守点検の要領及び障害時の対策等を説明するものとする。				
13. 足場・仮設圍仕切り				
仮設圍仕切り				
14. 監督職員事務所				
15. 養生				
16. 撤去				
17. 撤去跡の補修及び復旧				
18. 発生材の処理等				
(1) 引き渡しを要するもの				
1) 品名				
2) 引き渡し先				
3) 集積場所				
(2) 特定整理産業廃棄物				
1) 品名				
2) 引き渡し先				
3) 集積場所				
4) 処理方法				

3. 現場において再利用するもの						
1) 品名						
2) 引き渡し先						
4. 再資源化するもの						
1) 品名						
5. 関係法令に従い適切に処理するもの						
1) 品名						
15. 工事の区分						
建築工事、電気工事、機械工事、土木工事等の区分						
工事区分	建築	電気	機械	土木	別	備考
用途						
名称						
重油タンク更新に係る工事は全て本工事とする						
IV. 共通工事						
1. 総合調整						
下記の項目について総合調整を行い測定表を提出する。						
・ 風量調整						
・ 水量調整						
・ 室内外空気の温度度の測定						
・ 室内気流及びじんあいの測定						
・ 騒音の測定						
2. 配管工事						
2.1						
2.2 配管						
2.3 再生を行う場合の留意事項						
2.4 埋設配管						
図中の埋設管には下記の表示を行う。						
・ 埋設表示テープ（○）						
・ 地中埋設機（○標準図による（製））						
2.5 埋設深さ						
地中埋設配管の深さは下記による。						
・ 一般敷地（ 300mm以上）						
・ 車両道路（ 600mm以上）						

3. 保温・塗装・防錆工事									
3.1 保温工事									
（公共改修仕様書 第2編第3章第1節）									
保温仕様は下記によるものとし、下記以外のものは標準仕様書による。									
保温仕様									
層内	天井	床下	屋外						
露出	露出	露出	露出						
口径38.1mm以下の冷媒管は、冷媒用被覆断熱管を用いる場合は、保温材厚さは冷媒管で10mm、ガス管で20mmとする。ただし、冷媒管に使用する口径9.52mm以下の配管については、保温材厚さは8mmとしてもよい。									
3.2 塗装工事									
防錆工事									
（公共改修仕様書 第2編 3.2.1）									
（公共改修仕様書 第2編 3.2.2）									
4. はつり・穴開け									
（公共改修仕様書 第2編第4章）									
5. インサート及びアンカー									
（公共改修仕様書 第2編第5章）									
6. 電気工事									
6.1 配管配線									
6.2 施工									
7. 関連工事									
7.1 土工									
土工事は下記による。									
1) 埋戻し土は下記による。									
・ 根切り土									
○ 根切り土及び搬入土									
・ 搬入土									
○ 搬入土は、									
2) 不用土の処分は下記による。									
○ 構内支持の場所に敷き均し									
・ 構内指示の場所に積み上げ									
○ 構外に搬出し適切処分									
7.2 地業工事									
（公共改修仕様書 第2編第7章第2節）									
7.3 コンクリート工事									
（公共改修仕様書 第2編第7章第3節）									
7.4 左官工事									
（公共改修仕様書 第2編第7章第4節）									
機械基礎等のコンクリート面の仕上げは下記による。									
仕 上 げ									
備考									
・ モルタル塗り									
・ コンクリートこて仕上げ									
7.5 鋼材工事									
（公共改修仕様書 第2編第7章第5節）									

独立行政法人国立青少年教育振興機構					令和4年5月				
工事名称 国立吉備青少年自然の家 オイルタンク等改修工事					設計者 (株)アドバンコンサルタント				
図面名称 機械設備工事特記仕様書(1)					縮尺 N.S				
図面番号 特-01					課長 係長 主任 担当 設計者 Rev				

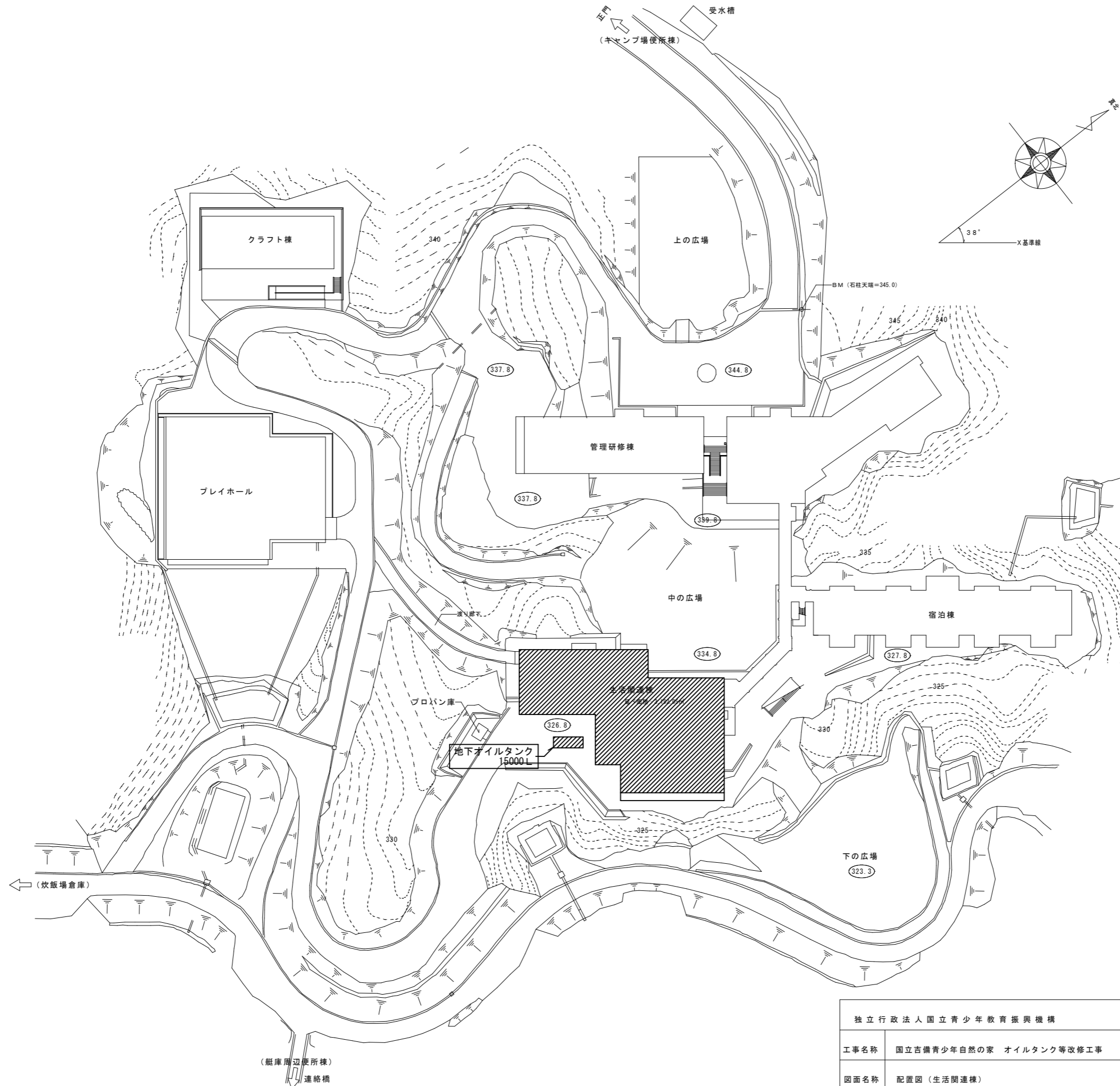
V. 空調設備工事				
1) 外気及び室内又は系統の設計温度条件は下記による。				
外気条件及び室内	夏期	冬期	備考	
又は系統名	乾湿温度	相対湿度	乾湿温度	相対湿度
外気条件	℃	%	℃	%
室温				
等				
2) 冷温水、蒸気等の設計供給条件は下記による。				
種別	系統名等	設計供給条件	備考	
冷水		℃	℃	
温水		℃	℃	
高温水		℃	℃	
蒸気		MPa	MPa	
2. 機材				
2.1 配管材料等				
用途	配管種別	継手種別	施工場所、備考	
冷温水管	配管用炭素鋼管(白)			
冷却水管	配管用炭素鋼管(白)			
蒸気管	配管用炭素鋼管(黒)			
	配管用炭素鋼管(黒) (Sch 40)			
高温水管	配管用炭素鋼管(黒) (Sch 40)			
	配管用炭素鋼管(黒) (STPG 370)			
空調用排水管	配管用炭素鋼管(白)			
油用配管	配管用炭素鋼管(黒) ネジ継合		機械室	
	ポリレン被覆鋼管 溶接継合		埋設配管	
高温水管の勾配は1/150~1/250で水抜き及び空気抜きが容易にできるように適切に取る。				
2.2 井類				
用途	種別	施工場所		
2.1 ダクト及びダクト付属品 (公共改修仕様書 第3編第1章第2節)				
1) ダクト及びチャンパーの表示寸法は外形寸法を表示す。				
2) ダクトの材質及び使用場所は下記によるものとし、下記以外は標準仕様書による。				
材	質	使用箇所		
長方形ダクト	ステンレス鋼板製 (SUS A) ステンレス鋼板製 (SUS B) 塩化ビニル樹脂製 (両面) グラスウール製 硬質塩化ビニル製 普通鋼板製			
パイプダクト	ステンレス鋼板製 塩化ビニル樹脂製 (両面)			
その他	グラスウール製円形ダクト 硬質ポリ塩化ビニル製 (VU) フレキシブルダクト フレキシブルダクト (断熱材付)			
2.4 ダクトの再利用・撤去・清掃 (公共改修仕様書 第3編2.2.8) (公共改修仕様書 第3編2.2.9) (公共改修仕様書 第3編2.2.11)				

2.5 ( )				
3. 施工 ( )	機器を固定する場合の設計用水平震度は下記による。			
設置場所	タンク以外の機器		タンク	
上層階	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
屋上及び塔屋				
中間階				
1階及び地下階				
設置場所	タンク		タンク	
上層階	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
屋上及び塔屋				
中間階				
1階及び地下階				
( ) 内の数値は防振支持の機器の場合を示す。重要機器は下記による。				
VI. 自給制御設備工事				
1. 機材				
1.1 配管配線その他				
1.2 ( )				
2. 施工 ( )				
給排水衛生設備工事				
1. 一般事項				
給水設備	給水設備	井水	再利用水	
給湯設備	給湯設備	中央式 (給湯温度 ℃)		
消火設備	消火設備	屋内消火栓 (号)	屋外消火栓	スプリンクラー
屋内排水設備	屋内排水設備	二酸化炭素消火設備	連絡送水管設備	その他 ( )
屋外排水設備	屋外排水設備	雑排水	実験排水	雨水
排水放流先	排水放流先	汚水	実験排水	雨水
		その他 ( )		
		構内合併処理施設	公共下水道	その他 ( )
2. 機材				
2.1 配管材料等				
用途	配管種別	継手種別	施工場所	
一般配管	ポリ粉体鋼管 ( ) ステンレス鋼管 ( ) 塩化ビニル樹脂製 ( )			
地中埋設配管	塩化ビニル樹脂製 ( ) ポリ粉体鋼管 ( )			
計器類				
2.2 量水器				
量水器の区分は下記による。				
親メーター (・貸与品)	買取り			
子メーター (・貸与品)	買取り			
量水器併用 (標準による)	水道事業者指定品	その他 (図面に特記)		
2.3 井類				
用途	種別	圧力	施工場所	
	管径防食ねじ込み形弁			
	青銅弁			
	ステンレス鋼弁			
2.4 給水装置				
給水装置の構造及び材質の基準に関する省令 (平成22年2月17日厚生労働省令18号) における準拠適合品を用いること。				

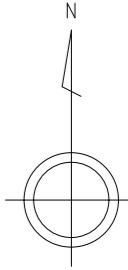
3. 機材	機材			
3.1 配管材料等	機材			
用途	配管種別	継手種別	施工場所	
屋内汚水配管	メカニカル形配管用鉄管 (種別) 排水用塩化ビニル樹脂製 ( ) 排水用鉛管 コーティング鋼管			
屋内一般雑排水管	配管用炭素鋼管 (白) 排水用塩化ビニル樹脂製 ( ) 排水用鉛管			
一般用排水通気管	配管用炭素鋼管 (白)			
屋外排水管	硬質塩化ビニル樹脂製 ( ) 遠心力鉄筋コンクリート管 排水用ポリ塩化ビニル樹脂製 ( ) 塩化ビニル樹脂製 ( ) 塩化ビニル樹脂製 ( ) 塩化ビニル樹脂製 ( )			
3.2 排水機				
排水機は下記による。				
標準図による (・CV形)	SA形	SB形	形	
その他 (図面に特記)				
3.3 ( )				
4. 機材				
4.1 配管材料等				
用途	配管種別	継手種別	施工場所	
一般配管	ステンレス鋼管 鋼管			
4.2 井類				
用途	種別	圧力	施工場所	
	ステンレス鋼弁			
	青銅弁			
	ステンレス鋼弁			
4.3 ( )				
5. 機材				
5.1 配管材料等				
用途	配管種別	継手種別	施工場所	
一般配管	配管用炭素鋼管 圧力配管用炭素鋼管 (Sch 40)			
5.2 ( )				
6. 施工 ( )				
機器を固定する場合の設計用水平震度は下記による。				
設置場所	タンク以外の機器		タンク	
上層階	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
屋上及び塔屋				
中間階				
1階及び地下階				
設置場所	タンク		タンク	
上層階	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
屋上及び塔屋				
中間階				
1階及び地下階				
( ) 内の数値は防振支持の機器の場合を示す。重要機器は下記による。				
VII. ガス設備工事				
1. 一般事項				
ガス	ガスの種別は、下記による。	MJ / Nm <sup>3</sup>		
	都市ガス (東京ガス)	MJ / Nm <sup>3</sup>		
	液化石油ガス	MJ / Nm <sup>3</sup>		
2. 機材				
2.1 配管及び配管付属品 (公共改修仕様書 第6編第2章)				
用途	配管種別	継手種別	施工場所	
一般配管	配管用炭素鋼管 (白)			
地中埋設配管	ポリエチレン被覆鋼管 ガス用ポリエチレン管			

VIII. 給排水衛生設備工事				
IX. 医療ガス設備工事				
X. 特殊ガス等設備工事				
2.2 ガスメーター				
用途	種別	継手種別	施工場所	
一般配管継手	ねじ込み式鋼鉄製管継手 配管用鋼製突合せ溶接式継手	買取り		
地中埋設配管継手	ねじ込み式鋼鉄製管継手 (外面樹脂被覆) ガス用ポリエチレン管継手	買取り		
2.3 ( )				
3. 施工 ( )				
ガスメーターの区分は下記による。				
	親メーター (・貸与品)	買取り		
	子メーター (・貸与品)	買取り		

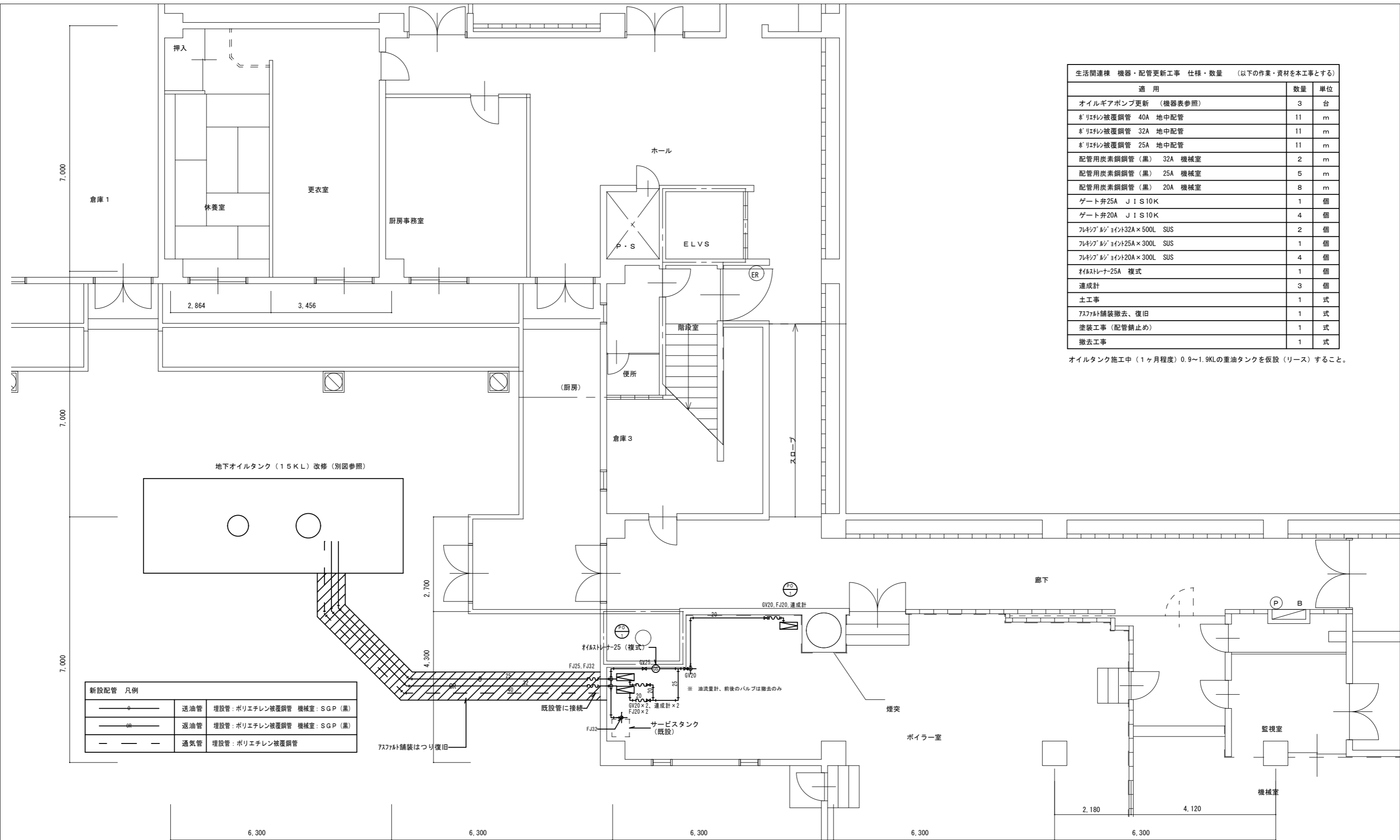
独立行政法人国立青少年教育振興機構				令和4年5月			
工事名称		国立吉備青少年自然の家 オイルタンク等改修工事				設計者 (株) アドバンコンサルタン	
図面名称		機械設備工事特記仕様書 (2)				縮尺 N.S	
図面番号		特-02		課長		係長	
				主任		担当	
				設計者		Rev	



独立行政法人国立青少年教育振興機構					令和4年5月						
工事名称	国立吉備青少年自然の家 オイルタンク等改修工事							設計者 (株)アドバンコンサルタント			
図面名称	配置図(生活関連棟)							縮尺	A1:1/500 A3:1/1000		
図面番号	M-3	課長	係長	主任	担当	設計者	Rev	建築設計士第07F2-7010R1号 井上 誠			



独立行政法人国立青少年教育振興機構					令和4年5月						
工事名称		国立吉備青少年自然の家 オイルタンク等改修工事							設計者 (株)アドバンコンサルタント		
図面名称		配置図(ロッジ)			縮尺		A1:1/200 A3:1/400			建築設計士第07F2-7010R1号 井上 誠	
図面番号		M-4	課長	係長	主任	担当	設計者	Rev			



生活関連棟 機器・配管更新工事 仕様・数量 (以下の作業・資材を本工事とする)		
適用	数量	単位
オイルギアポンプ更新 (機器表参照)	3	台
ポリエチレン被覆鋼管 40A 地中配管	11	m
ポリエチレン被覆鋼管 32A 地中配管	11	m
ポリエチレン被覆鋼管 25A 地中配管	11	m
配管用炭素鋼鋼管 (黒) 32A 機械室	2	m
配管用炭素鋼鋼管 (黒) 25A 機械室	5	m
配管用炭素鋼鋼管 (黒) 20A 機械室	8	m
ゲート弁25A JIS10K	1	個
ゲート弁20A JIS10K	4	個
フレックシブルジョイント32A×500L SUS	2	個
フレックシブルジョイント25A×300L SUS	1	個
フレックシブルジョイント20A×300L SUS	4	個
オイルトレーナ-25A 複式	1	個
連成計	3	個
土工事	1	式
アスファルト舗装撤去、復旧	1	式
塗装工事 (配管錆止め)	1	式
撤去工事	1	式

オイルタンク施工中 (1ヶ月程度) 0.9~1.9KLの重油タンクを仮設 (リース) すること。

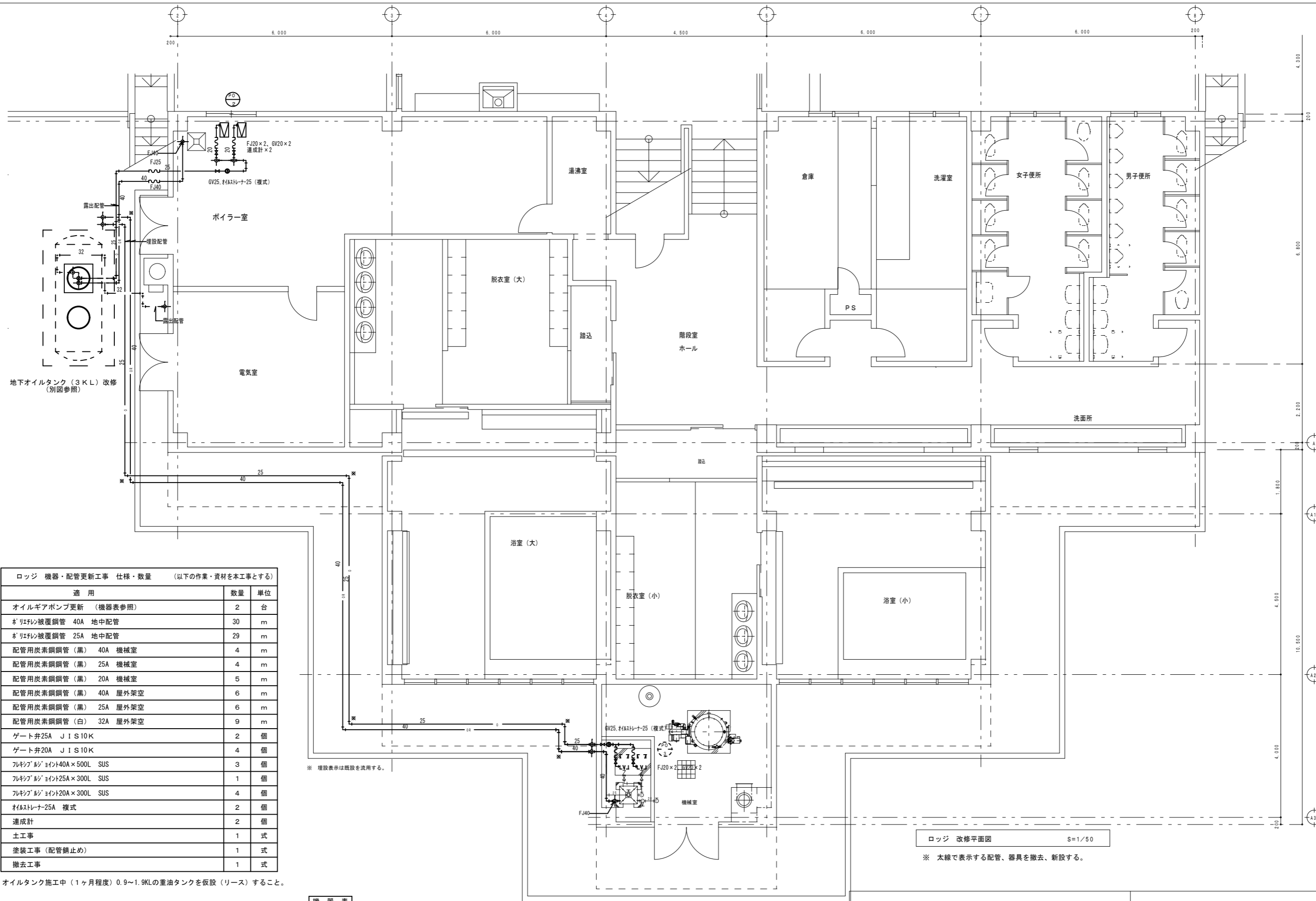
新設配管 凡例		
	送油管	埋設管: ポリエチレン被覆鋼管 機械室: SGP (黒)
	返油管	埋設管: ポリエチレン被覆鋼管 機械室: SGP (黒)
	通気管	埋設管: ポリエチレン被覆鋼管

機器表				
記号	名称	仕様	数量	備考
	オイルギアポンプ	φ15×12L/min×0.4kW×0.3MPa	3	撤去、新設

生活関連棟改修平面図 S=1/50

※ 太線で表示する配管、器具を撤去、新設する。

独立行政法人国立青少年教育振興機構		令和4年5月	
工事名称	国立吉備青少年自然の家 オイルタンク等改修工事		
図面名称	生活関連棟改修平面図 (配管)	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
図面番号	M-5	課長	係長
		主任	担当
		設計者	Rev



ロッジ 機器・配管更新工事 仕様・数量 (以下の作業・資材を本工事とする)		
適用	数量	単位
オイルギヤポンプ更新 (機器表参照)	2	台
ポリエチレン被覆鋼管 40A 地中配管	30	m
ポリエチレン被覆鋼管 25A 地中配管	29	m
配管用炭素鋼鋼管 (黒) 40A 機械室	4	m
配管用炭素鋼鋼管 (黒) 25A 機械室	4	m
配管用炭素鋼鋼管 (黒) 20A 機械室	5	m
配管用炭素鋼鋼管 (黒) 40A 屋外架空	6	m
配管用炭素鋼鋼管 (黒) 25A 屋外架空	6	m
配管用炭素鋼鋼管 (白) 32A 屋外架空	9	m
ゲート弁25A JIS10K	2	個
ゲート弁20A JIS10K	4	個
フレキシブルジョイント40A×500L SUS	3	個
フレキシブルジョイント25A×300L SUS	1	個
フレキシブルジョイント20A×300L SUS	4	個
マストレーナ25A 複式	2	個
連成計	2	個
土工事	1	式
塗装工事 (配管錆止め)	1	式
撤去工事	1	式

オイルタンク施工中 (1ヶ月程度) 0.9~1.9KLの重油タンクを仮設 (リース) すること。

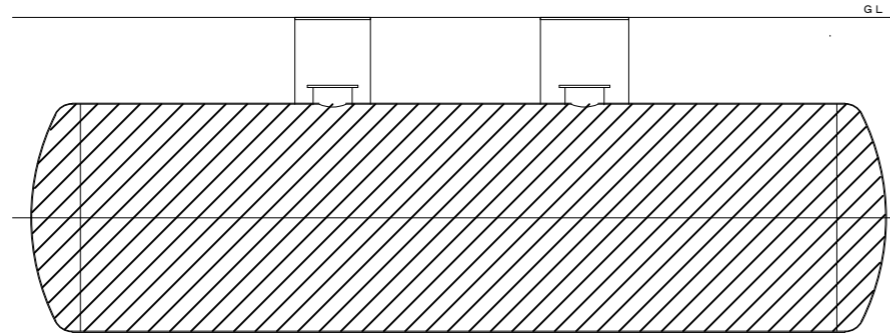
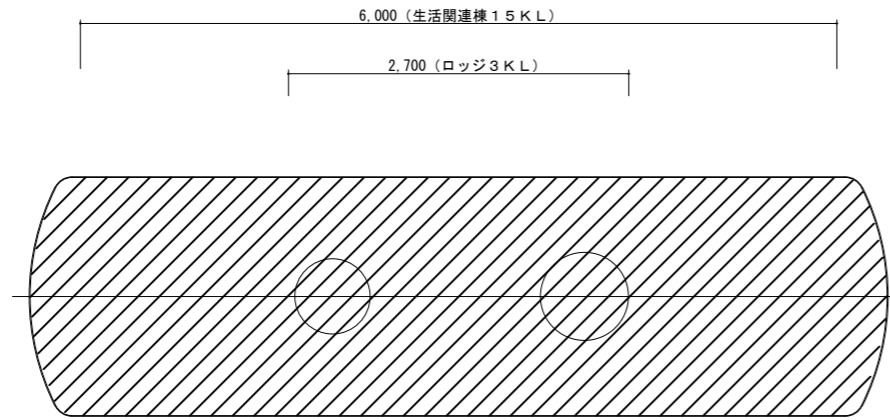
新設配管 凡例		
	送油管	埋設管: ポリエチレン被覆鋼管 機械室、屋外架空: SGP (黒)
	返油管	埋設管: ポリエチレン被覆鋼管 機械室、屋外架空: SGP (黒)
	通気管	屋外架空: SGP (白)

機器表				
記号	名称	仕様	数量	備考
	オイルギヤポンプ	φ15×10L/min×0.4kW×0.25MPa	2	撤去、新設
	オイルギヤポンプ	40/32×21L/min×2.2kW×1.0MPa	2	既存残置

ロッジ 改修平面図 S=1/50  
※ 太線で表示する配管、器具を撤去、新設する。

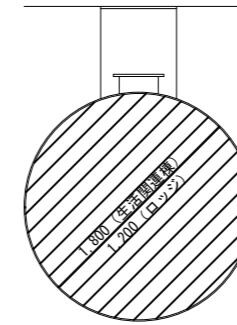
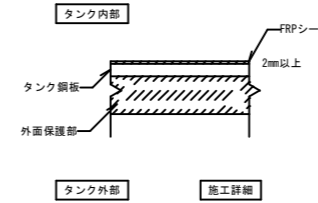
独立行政法人国立青少年教育振興機構				令和4年5月			
工事名称		国立吉備青少年自然の家 オイルタンク等改修工事				設計者 (株) アドバコンサルタント	
図面名称		ロッジ改修平面図 (配管)		縮尺 A1:1/50 A3:1/100		建築設計士第07F2-7010R1号 井上 誠	
図面番号		M-6	課長	係長	主任	担当	設計者 Rev

改修オイルタンク 既設15KL（生活関連棟）及び3KL（ロッジ）



1,200 (ロッジ3KL)  
1,800 (生活関連棟15KL)

FRP施工箇所（タンク内面）  
施工厚さ2mm以上  
（ハンドレイアップ工法）



地下オイルタンク改修 仕様・数量（以下の作業・資材を本工事とする。）		
適用	数量	単位
地下タンク清掃及び気密検査		
タンク清掃	2	基
中和剤	2	缶
タンク中和処理	2	基
タンク本体事前気密検査	2	基
FRP施工		
タンク非破壊検査（板厚測定）	2	基
タンク内腐食部補修	2	基
タンク内下地処理（第2種ケレン）	39+13	m <sup>2</sup>
FRPシート	39+13	m <sup>2</sup>
プライマー施工	39+13	m <sup>2</sup>
FRPシート貼付け施工（膜厚2mm以上）	2	基
膜厚測定・ピンホール検査	2	基
消防及び全危協関連書類		
全国危険物安全協会申請費	1	式
消防変更申請及び打合せ代行	1	式
消防変更申請・完成申請手数料	1	式
図面作成	1	式

独立行政法人国立青少年教育振興機構				令和4年5月			
工事名称 国立吉備青少年自然の家 オイルタンク等改修工事							設計者 (株)アドバンコンサルタント
図面名称 地下オイルタンク改修図							縮尺 A1:1/30 A3:1/60
図面番号 M-7							課長 係長 主任 担当 設計者 Rev